

ひびき通信

平成 25 年
3 月版



↑ スプリンクラーの制御盤

デイサービスやグループホーム 消防設備の点検を実施しました

火災感知器や自動通報システム 万が一に備え作動を確認

在宅サポートセンター生田の消防設備点検がこのほど行われました。長崎市のグループホーム火災があつた後だけに、防火への備えを改めて確認しました。



火災を感知すると消防署へ自動通報するシステム

グループホーム響では 夜勤職員二名体制で対応

当センターでは、開設当初に自動火災通報システムを導入しており、火災発生時に感知器が作動すると同時に、自動的に消防署へ連絡が入るシステムとなっています。また、平成二十三年十一月には、グループホームのフロアや居室を中心にスプリンクラーを設置。防火への備えを

強化してきました。今回の設備点検では、グループホーム部門だけではなく、センター1階のデイサービス部門をはじめ、事務所や倉庫、物品庫、会議室など全ての火災感知器の作動とあわせて消防署への自動通報システムの動作を確認しました。

全国的な傾向として、入所されている方々の高齢化や重度化が進み、万が一の場合の避難など、緊急時対応への不安要因が大きくなっているのが現状です。そんな中、当センターでは、夜勤職員二名を配置するなど、夜間帯の緊急時にもできるかぎりの対応がとれるよう職員体制の充実を継続してきました。また、三月九日には、多摩区消防署の指導のもと職員全員参加による消火訓練と避難訓練を実施する予定となっております。今後も施設を上げて万が一への備えを強固にしていきます。

焼きたてのクッキーに「おいしい」



グループホーム響でバレンタインデー チョコクッキーづくりに挑戦

グループホーム響では、バレンタインデーの二月十四日に入居者の皆さんがチョコレートクッキーづくりを楽しみました。スタッフと一緒にクッキーの生地づくりから挑戦。チョコレートをトッピングした生地をオーブンで焼き上げて出来上がり。手づくりバレンタイン・クッキーの甘くて香ばしいかおりが、フロアいっぱいに広がりました。

運営体制や証票類の整備、サービス内容など 調査員が細かくチェック

かながわ福祉サービス振興会の第三者評価の訪問調査がこのほど行われました。

評価結果
3ヶ月後に
公開予定

かながわ福祉サービス振興会によるグループホーム響への第三者評価の訪問調査がこのほど行われました。

調査にあたっては、契約書や業務日誌、サービス提供記録、ケアプランなどの証票類の整備をはじめ、ターミナル

ケアの指針、避難訓練の実施記録、家族や地域との交流、運営推進会議の開催、地域への情報発信、認知症に関する

研修など、運営状況や業務内容、サービスの内容を確認しました。調査当日の評価では、運営体制、災害対策、サービス内容などに高評価をいただきました。具体的な評価結果については今後、かながわ福祉情報コミュニティに公開される予定です。